

市長の窓

9月13日能代港に寄港した豪華客船
「ばしふいつくびいなす」恒川郁雄船
長と握手を交わす齊藤市長



しげのぶ
滋宣の

ぼうちゅう かん あんちゅう めい
“忙中、閑あり。暗中、明あり。”
～ その6 ～

～ ABC ～

「^A当たり前のことを
^B馬鹿になって ^Cちゃんとする」

を今風に「ABC」というそうです。

ある時、千 利休 が弟子に問われます。

「茶の湯の神髄とは何ですか」と。

利休 いわく、

「茶は 服の良き様に点て、

炭は 湯の沸くように置き、

冬は 暖かに 夏は 涼しく、

花は 野の花のように活け、

刻限は早めに、降らずとも雨の用意、

相客に心せよ」 と。

それを聞いた弟子は、

「お師匠様、それくらいは私も知っております」

と不満げに言うと、

利休は重ねて言いました。

「もしあなたがそれを十分にできましたら、

私はあなたのお弟子にならしましょう」と。

分かっていてもなかなかできないものです。

能代市長 齊 藤 滋 宣